

善忍おっぱい

-半蔵編-



「んっ♡あ、あのちよっとな...」
なぜ急に胸に押し当て始めるのですか?」

ニニニ

ズキッ

オオオオオ





「びしょ...」

びしょ

びしょ

びしょ

「はあはあ...す、凄い臭い...
これが精液...」

〜
〜
〜

♡

〜♡〜♡〜

〜
〜
〜
な...



「手で強く締め付けられればいいのですかね？
い、痛くはないのですか？」

ズキ
ズキ

ズキ
ズキ

ズキ
ズキ

ズキ
ズキ





「あっ…」

ギョッ
↓
↓
↓

ズッ
↓
↓
↓

ガッ
ガッ

「ん…忍びなればこれくらい
パイズリくらい朝飯前です…」

とろろ

ム
とろろ
とろろ

だらけ…





「ちよっ、三人同時になんて聞いてません
そんなに押し付けないうでくださいー」

ゴッ
グッ
ズッ
ズッ

ゴッ
グッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ



「や、やめてくださいっ……」
私の胸はあなた達のおもちゃでは……」

ムムム



「なんで俺がこんなことを
しなければならないんだ……」



「んっ♥出すならさっさと出せ
こんなこと…時間の無駄だ…」

ぽんぽん

んんん

んんん

んんん



「くっ…これで満足だろう
全くひどい臭いだ…」

ゴッ

グッ

グッ

グッ

「またこれか…物好きはやつたなお前も…」





「こんなに…精液を無駄に吐き出すのは
さぞかし楽しいだろうな」

ズ
ズ
ズ

ト
ト
ト

と
と
と

ハ
ハ
ハ

ト
ト
ト



「一度に二人の相手をするなんて聞いてないぞ
全く…凶々しいやつらだ」

「情けない顔をしてるな、もう射精しそっなのか？
いいぞ、思う存分出せ」



「うう…精液というのは苦いものなんだな…」

ク…ク…ク…
ク…ク…ク…

ぬる

ク…ク…ク…





「おっぱいでして欲しい？
たくしようがねえなあ……ほらよー！」

おっぱい
すーすー
♡♡

すー♡

♡
♡
♡



「うっちはー!」

グ
ー
グ

グ
グ

グ
グ
グ
グ
グ

グ
グ

グ
グ

グ
グ

グ
グ

グ



「うああ…すげー量…
どんだけ溜めてたらこんなんなるんだよ」

だらぁ…♡

「またこれかよ...お前もほんと懲りないなあ
ほら、胸なら貸してやるからお前が動きな」





「ちよっ！激しすぎだろ！
アタイの胸はおもちやじやないんだぞー！」

んんん
ん

んんん



「はあはあ…またこんなに射精して…
どんだけパイズリ好きなんだよこの変態は」

「押し付けてるだけじゃねーか…
こんなんでホントに満足できんのかよ？」



グ
ー
ー
ー

グ
ー
ー
ー

グ
ー
ー
ー

「んっカリに乳首が擦れてくすぐったいな…」

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ
んっ





「いえっ！いっ！ひばり今から
パイズリがんばりまーす♡」

むちむち

にゅぷっ

ピース



「ひゃあー!」

「ひゃあー!」

「ひゃあー!」

「ひゃあー!」

「ひゃあー!」

「ひゃあー!」

「ひゃあー!」



「うわぁいっぱい出たね！
ひばりのおっぱい気持ちよかった？」

「えへへへ
おちん○ん全部隠れちやっただね♡」



す"す"♡

ぽんぽん♡

「ひゃっ♡あっ♡」



ズンッ
ズンッ

ズンッ
ズンッ
ズンッ

ズンッ
ズンッ
ズンッ

「ああ…いっぱい出たね
おっぱいの中ぐちよぐちよだよあ♡」

しー
ろお

とろろ
ーろろ
ーろろ

おっぱい
びん





「今回はひばり一気に
三人と仲良くしちゃおうよ♡」



「あははっ♡ちよっくとくすぶぐったいら」

あははっ♡ちよっくとくすぶぐったいら

あははっ♡ちよっくとくすぶぐったいら

あははっ♡ちよっくとくすぶぐったいら



「あはっ♡でたでたあ♡」

あはっ♡
でたでたあ♡

あはっ♡
でたでたあ♡



「いっぱい出たね
おっぱいせーしだらけになっちゃった♡」

とろろ...

「これってホントに修行なんですか？
なんの修行になるんだろう……」



「あっちよっと！胸を乱暴に扱わないでください！」





「んんん...」

ぽんぽん
ぽん
んんん

ぽん
んんん

んんん

「うう…酷い臭い…
これに一体なんの意味があったんですかあ？」

ズ
ィ
ィ
ィ

キ
ン
ン
ン
ン
ン



ぷちむち



「胸を腕で押さえつけてぎゅーと...
これでいいのかなあ?」



たんたん

おっちゃん

おっちゃん
おん
おん
おん

「おっちゃんの中でおちゃんのおん擦れて
すっごくあっつくなっています」



「ふっふっ」

↑
ゾ
ハハハハハ

ズ
ズ

↑
ズ
ズ

ズ
ズ

ズ
ズ

「凄い量…
顔にまでかかっちゃいました…」

ブ…
ッ…
ハ…
ト…

とろろお…
とろろお…
とろろお…

とろろお…



「もう…順番って言うてるのに…
しようがないから我慢できなかった人は
手で上げてあげますね♡」

ぐわっ
ぐわっ
ぐわっ

ぐわっ
ぐわっ
ぐわっ
ぐわっ

ぐわっ
ぐわっ



「んっ♡おちん○んあっつくなってきましたよ
胸にいっっぱい出してくださいな♡」



「あはっ♡出たあ♡」

「あはっ♡出たあ♡」
「あはっ♡出たあ♡」
「あはっ♡出たあ♡」

「あはっ♡出たあ♡」

「あはっ♡出たあ♡」



「気持ちよかったですか？
みんなが喜んでくれたなら私すごく嬉しいなあ！」

ぐんぐん

びしょ

